



2017-2018年度

# 地区補助金事業報告

プロジェクト名：福山市で多機能型障害者福祉サービス事業を営む特定非営利活動法人ミクシムに工業用ミシンを寄贈する

■プロジェクト実施日： 2017年9月20日

■実施場所：福山市今津町 特定非営利活動法人ミクシム 施設内

## 【ミクシムの目的と活動内容】

特定非営利法人ミクシムは地域（松永）の人との交流を大切にして幸せと夢の実現をサポートしています。一般就労を本気で目指している障害者の方の生活訓練から就労後のサポートまで、一人ひとりに合ったプログラムで訓練する事業所です。主に基礎訓練は働くことの大切な知識を習得し、実践訓練でグループワークでの職業能力を身に着け、就労移行支援で職場実習・求人活動を行います。又就労継続支援A型事業では就労に必要な知識及び能力向上をサポート、就労継続支援B型事業は生産活動などの知識と能力向上のためのサポートを行います。主な作業内容は、洗濯物・タオルなどの運搬、包装作業などの業務です。今後施設外就労や自社製品の制作も行います。

## 【プロジェクト概要】

広島県福山市今津町の多機能型障害福祉サービス事業を営む特定非営利活動法人ミクシムは知的障害者、肢体不自由者、精神障害者約30人（19歳から57歳）が在籍し、タオル類や衣の補修・修繕などを行い社会復帰を目指して就労訓練を行っています。しかし、その就労者に見合う数のミシンがなく十分な職業訓練を行うことが出来ないことが分かり、工業用ミシンを寄贈することになった。

## 【実施報告】

2017年9月20日、松永ロータリークラブは就労移行支援、就労継続支援A型・B型事業を行う福山市今津町の特定非営利活動法人ミクシムに工業用ミシンを寄贈した。贈呈式では地区補助金の趣旨を贈呈式参加者に沖会長が説明し、事業の経過報告を川本R財団・米山委員長が説明を行いました。当日はミクシムで働く方ともふれあいました。



ビジネス情報誌に掲載2017年10月1日

多機能障害者福祉施設へ  
就労訓練用ミシン寄贈

**松永RC**

松永ロータリークラブ（沖裕人会長）は9月20日、多機能型障害者福祉サービス事業を営む特定非営利活動法人ミクシム（福山市今津町七二一、山本貴代子理事長）に就労訓練用の工業用ミシン一台を寄贈した。寄贈式が施設内で行われ、沖会長が山本理事長に目録を贈ったII写真。

同RCの地区補助金を活用。社会奉仕活動の一環として行

つた。寄贈式であいさつした。沖会長は「ミシンを活用して

就労訓練の機会を充実させてほしい」と話した。山本理事長は「障害者の自立へ向けて企業との懸け橋になれるよう活動している。障害のある人もない人も、地域で安心して暮らせる社会の実現を目指したい」と応じ、感謝した。同施設には三〇人が在籍。タオル類や衣類の袋詰めのほか、工業用ミシンを使ってオリジナルポーチを製作したり、衣類の補修・縫製作業をしている。これまではミシンが一台しかなかったが、寄贈によって作業の効率化や生産性の向上が望める。山本理事長は「新たなオリジナル商品も開発したい」と意気込んでいた。